

平成 24 年 8 月 10 日

各関係団体の長 殿

神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部障害福祉課長  
(公 印 省 略)

「東日本大震災チャリティーコンサート『障害者週間』東欧音楽家支援  
国際親善交流特別演奏会（日本・ブルガリア文化交流演奏会）」の周知  
について（依頼）

本県の障害福祉行政の推進につきましては、日ごろ格別のご協力を賜り厚く  
お礼申し上げます。

さて、標記事業に関しまして、本県では例年後援を行っております。

つきましては、障害のある方々やその方々を支えるボランティア団体、母子  
家庭、養護施設を利用する子供たち及び高齢者の方々を招待するにあたり、貴  
職の関係団体等への周知について、御配慮賜りますようお願い申し上げます。

また、無料招待に関する申し込みは、別添の申込書にて、主催者である日本  
音楽文化交流協会宛に FAX でお願いいたします。

開催日時：平成 24 年 10 月 29 日（月）14:00～

会 場：横浜ラポール

主 催：日本音楽文化交流協会・国際親善交流特別演奏会実行委員会

電話/FAX 03-3442-2325

申込期限：平成 24 年 9 月 30 日（日）

問い合わせ先

社会参加推進グループ 松岡

電話 045-210-1111 内線 4711

ファクシミリ 045-201-2051

<FAX 送信票>

FAX 番号：03-3442-2325

日本音楽文化交流協会 行

平成24年9月30日(日)(必着)

\*\*\*\*\*

申 込 書

『『障害者週間』東欧音楽家支援 日本・ブルガリア文化交流演奏会  
国際親善交流特別演奏会 INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL  
東日本大震災チャリティーコンサート』 無料招待券

希望枚数	枚
団体・施設名	
所在地	
ご担当者氏名	
電話番号	
ファクシミリ	

【障害者週間】東欧音楽家支援 日本・ブルガリア文化交流演奏会  
国際親善交流特別演奏会 INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL  
東日本大震災チャリティーコンサート

障害者スポーツ文化センター  
横浜ラポール開館20周年記念特別演奏会

# Violin

ヴァイオリン

# Piano

ピアノ

Recital



ヴァイオリン

デシスラヴァ・チョラコヴァ

Violin Dessislava Tcholakova

the 19th

2012年10月29日(月) 開演14:00(開場13:30)

障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

神奈川県横浜市港北区鳥山町1752 Tel. 045-475-2055

2:00 p.m. MONDAY, OCTOBER 29, 2012, AT YOKOHAMA RAPPORT

全席自由: ¥3,000 お話: 大津香名美

## Program

ショパン作曲: ノクターン 変ホ長調 作品 9-2 Chopin: Nocturne Es-dur, Op. 9-2

ショパン作曲: ワルツ 嬰ハ短調 作品 64-2 Chopin: Waltz cis-moll, Op. 64-2

ショパン作曲: マズルカ 嬰ハ短調 作品 59-3 Chopin: Mazurka fis-moll, Op. 59-3

ショパン作曲: ポロネーズ 変イ長調 作品 53 「英雄」 Chopin: Polonaise As-dur, Op. 53

チャイコフスキー作曲: ワルツ・スケルツォ 作品 34 Tchaikovsky: Waltz Scherzo, Op. 34

ラフマニノフ作曲: ヴォカリーズ 作品 34-14 Rachmaninov: Vocalise, Op. 34-14

パデレフスキ作曲: ノクターン 変ロ長調 作品 16-4 Paderewski: Nocturne B dur, Op. 16-4

パデレフスキ作曲: 幻想的クラコヴィアク 口長調 作品 14-6 Paderewski: Cracovienne Fantastique H dur, Op. 14-6

シューベルト作曲: 即興曲 変イ長調 作品 90-4 Schubert: Impromptu As dur, Op. 90-4

リスト作曲: 愛の夢 第3番 Liszt: Liebestraume As dur, No. 3

ヴラディゲロフ作曲: ソング Vladigerov: Song

サラサーテ作曲: ツィゴイネルワイゼン 作品 20 Sarasate: Zigeunerweisen, Op. 20



ピアノ 後藤真利子

Piano Mariko Goto

チケット申し込み 日本音楽文化交流協会 TEL/FAX 03-3442-2325

主催: 国際親善交流特別演奏会実行委員会 日本音楽文化交流協会 TEL/FAX 03-3442-2325

共催: 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール・社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団

後援: 外務省・文化庁・厚生労働省・国際交流基金・ブルガリア共和国大使館・神奈川県・横浜市健康福祉局・川崎市・横浜市教育委員会・神奈川新聞社・TVK テレビ(テレビ神奈川)

協賛: meiji 株式会社 明治

※出演者・曲目等が変更される場合がありますのであらかじめご承知お下さい。※障害者、養護施設、母子家庭、高齢者の方を御招待致します。

# Violin ヴァイオリン Piano ピアノ Recital

【障害者週間】東欧音楽家支援 日本・ブルガリア文化交流演奏会

国際親善交流特別演奏会 INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL 東日本大震災チャリティーコンサート



## ヴァイオリン デシスラヴァ・チョラコヴァ

Violin Dessislava Tcholakova

デシスラヴァ・チョラコヴァは、生まれ故郷の町、パザルジックの「フリスト・ボテフ芸術学校」でヴァイオリンの手ほどきを受けた。彼女の最初の師は、母親のイラ・チョラコヴァであった。彼女の最初の成果は、1985年、1986年、1987年の、「ネデヤルスカ・シメオノヴァ」コンクール、「スヴェトスラフ・オベレテノフ」コンクールでの受賞であり、ロヴェチ、パザルジック、プロヴディフなどの町におけるフェスティバルへの参加、またブルガリア国立テレビでの放送、また、パザルジック交響楽団との共演であった。

1992年、チョラコヴァはプロヴディフ音楽高等学校に入学、アネリア・スタレヴァの教室で学んだ。1993年、彼女は、ソフィアの、第1回「L. ビブコフ青少年全国コンクール」にて優勝、1994年に、スイスのハビブ・カヤレ教授が教えるヴァイオリン・アカデミーで学ぶための奨学金を得た。在学中に、イタリアの「シッタ デイ ストレサ」国際コンクール優勝、北朝鮮のピョンヤン・フェスティバル優勝、ナポリのカンポ・ヴィスヴィオ・フェスティバル特別賞受賞などを果たした。また、ソリストとして、カヤレ・アカデミー・オーケストラ、ピョンヤン交響楽団、チューリッヒのズルヒャー・アンサンブル、カラカスの、ベネズエラ・オー

ケストラ・シンフォニカ、ハンブルク・クラシック・フィルハーモニーなどで演奏した。

卒業後は、前述のハビブ・カヤレ教授の公式アシスタントを務めた。ジュネーブ国立ラジオやベルガモ、ローザンヌのフェスティバルでは何度も演奏している。2004年には、クラウディオ・アバド指揮の国際青少年オーケストラのメンバーとして、「マラー少年団オーケストラ」フェスティバルで演奏した。2004年から2006年は、「シンフォニエック・ドゥ・ローザンヌ」および「オーケストラ・スタビレ・ディ・ベルガモ」のメンバーとして活動した。

2006年と2007年に、ミラノの「ラ・ヴェルディ・オーケストラ」と仕事をし、スカラ座やレージョ・エミリア、ミラノ大講堂その他で演奏。

2011年に国際交流基金のご招待で日本で東日本大震災の絆イベントにおいて演奏。同年東京工業大学主催のArt At Tokyo Techフェスティバルにも参加している。2011年にソフィアの「P. ヴラディゲロフ国立音楽アカデミー」のストイカ・ミラノヴァ教授のヴァイオリン教室ならびに、アンゲル・スタンコフ室内音楽教室で学び、修士号を取得し、現在は国内外で活躍している。



## ピアノ 後藤真利子

Piano Mariko Goto

京都府出身。京都市立音楽高等学校（現京都市立堀川音楽高等学校）を経て、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。2008年9月よりポーランド国立ショパン音楽大学に留学し、エイジ・ステルチンスキ氏のもとで研鑽を積む。2011年9月同大学研究科を修了し帰国。

2009年7月、ポーランド・ブスコ・ズドゥルイで行われた「ショパンと共に過ごす夏」国際音楽祭に招かれソロリサイトを開催。2010年3月、兵庫にて日本ショパン協会関西支部主催「ショパンの夕べ」推薦コンサートに出演。好評を博し、同年11月、京都青山バロックザールにて青山財団特別助成ソロリサイト「ショパンとシモノフスキ ポーランドに想いをよせて」を開催。

留学中、学内で行われた第12回ショパン生誕200周年記念全曲演奏会に出演、エチュードコンクール入賞。

イタリア・ポルトグルアーロで開催されたサンタチェチリア音楽院主催のマスタークラスにおいてフィリッポ・ガンバ氏のクラスを受講。市内で行われたコンサートに出演。その他ワルシャワで行われたショパン生誕記念コンサートや、東日本大震災における被災者のためのチャリティーコンサートにも積極的に参加する。また2010年度ポーランド日本人会において、留学生演奏会「ポーランドと日本の友好を願って」を企画、出演。

帰国後は関西を拠点に、ポーランド人作曲家の作品を中心としたコンサートや、幅広いジャンルを取り入れた室内楽でも積極的に演奏活動を行っている。これまでに、山田淳子、宮部敦子、田陽靖子、坂井千春、クシユトフ・ヤブウォンスキの各氏に師事。日本ショパン協会関西支部、日本音楽文化交流協会会員。



## お話 大津香名美

Kanami Otsu

2008年昭和音楽大学卒業、2010年同大学院オペラ専攻修了。

今井ユキエ、大藤裕子の各氏に師事。

大学院修了オペラ公演およびJTアフタヌーンコンサートにてオペラ《コジ・ファン・トゥッテ》(抜粋)の

デスビーナを好演。2010年「La piazza公演」(町田、新潟公演)に特別出演。2011年ミュウザ川崎主催「フェスタサマーミュウザKAWASAKI2011-ミニコンサート」に出演。

昭和音楽大学附属音楽・バレエ教室講師。



## 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 番地  
TEL.045-475-2055 FAX.045-475-2053

URL <http://www.yokohama-ri.jp/shisetsu/rapport/>